

平成26年12月14日
(公社) 日本フェンシング協会

2015年ジュニア・カデ（アブダビ）アジア選手権大会

日本代表選手選考方針及び基準

1. フェンシング日本選手団 編成方針
 - 1) 2020年東京オリンピック競技大会でメダル獲得並びに十分な活躍が期待される将来有望な選手の中から編成する。
 - 2) 行動規範を遵守し、フェンシング日本代表として相応しい選手・役員をもって編成する。

2. 派遣期間：カデ・ジュニア：2015年2月28日～3月8日
※大会日程等に応じて、若干前後する場合もある。

3. 派遣種目及び派遣人数（カデ・ジュニア共通）

男子フルーレ4名、男子エペ4名、男子サーブル4名
女子フルーレ4名、女子エペ4名、女子サーブル4名 計24名

4. 選手選考基準
 - (1) 選手選考方法
 - ①ジュニア・カデランキング（JOC CUP終了時点）上位2名とする。
 - ②他に2名については、強化本部会の推薦とする。
 - ※ただし男女エペにおいては、要項どおり上位者3名、推薦者1名とする。
 - ③権利を有するいずれかの選手が出場を辞退した場合、次点選手を選考する。
 - ④ジュニア・カデとも権利を有する選手は基本的に両カテゴリーに出場できる可能性があるが、担当ヘッドコーチ及び強化本部会で協議のうえ決定する。
 - (2) 選考対象選手
 - ①権利を有する選手であっても、強化本部会が計画する練習会及び強化合宿に著しく参加しない選手は選考対象外とする。

※（理由）ランキング上位者及びヘッドコーチが選出した、競技レベルの高い選手を招集し、年間をとおして計画的に強化練習や国際大会を経験させなければ、国際競技力の向上は図れない。

5. 選手選考基準（サーブル）

（1）選手選考方法

- ①H26年4月～H26年12月までのジュニア・カデランキングの上位4名、コーチ推薦の4名をナショナルチームのメンバーとし、海外遠征・JOC CUPの成績及び国内強化合宿等による国際競技力を重視して世界選手権及びアジア選手権の日本代表選手4名を選考する。
- ②ジュニア・カデとも権利を有する選手は基本的に両カテゴリーに出場できる可能性があるが、担当ヘッドコーチ及び強化本部会で協議のうえ決定する。

（2）選考対象選手

- ①権利を有する選手であっても、強化本部会が計画する練習会及び強化合宿、国際大会に著しく参加しない選手は選考対象外とする。
- ※（理由）ランキング上位者及びヘッドコーチが選出した、競技レベルの高い選手を招集し、年間をとおして計画的に強化練習や国際大会を経験させなければ、国際競技力の向上は図れない。